

# 施策評価シート【重点施策】

## 個別施策Ⅱ－（１）

### 若い世代の結婚・出産を支援する

#### 基本的な方向性

結婚や出産の希望をかなえるために、経済的な安定を支援し、若いうちに子どもを育てることができるようにするとともに、乳幼児を持つ家庭への訪問、相談事業など、妊娠・出産・育児期における不安の軽減を図り、切れ目のない支援を行います。

#### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値						31年度 目標値
		計画 策定時	27年 度	28年 度	29年 度	30年 度	31年 度	
乳児家庭全戸訪問の 訪問率【年間】	%	93.3	95.6	93.4	95.4	96.1	95.3	95.4
産科・小児科(周産期) の救急受診患者の受 入数【年間】	人	2,068	2,300	3,458	3,063	3,088	3,067	2,150
妊婦健診の受診率【年 間】	%	95.5	96.2	94.1	96.5	95.9	96.0	96.9

#### 施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・平塚・中郡地域で産科・小児科の二次救急を担う唯一の病院として、産科・小児科の救急患者を受け入れ、安心して産み育てることができる医療環境に貢献しました。
- ・子育て世代包括支援センター「ひらつかネウボラルームはぐくみ」での管理栄養士配置による栄養指導を強化しました。
- ・国、県等と連携して企業が人材確保できるよう各種就労支援セミナーを実施しました。また、就職面接会において、より多くの企業と求職者がマッチング出来るよう参加事業所数を増やしました。さらに、市内大学と連携した学生向けの就活応援講座を行うことで、大学生の市内企業への関心を高めました。
- ・働き方改革や女性活躍推進法に関する講演や市内イクボス宣言登録企業による事例発表会を開催し、市内事業所にイクボスを広め、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進を図りました。また、イクボス宣言登録企業であることを評価項目にした総合評価方式の入札を運用しました。
- ・神奈川県と共催で働き方改革等に関する知識やメンタルヘルス対策等に関する講座を開催し、勤労者、事業主、労務管理担当者の知識と理解を深める機会を提供しました。
- ・事業所の新增設に係る施設整備助成1件、新規雇用助成2件を新たに適用承認しました。また、施設整備助成金19件、新規雇用助成1件を交付し、企業の事業と雇用機会の拡大を促進しました。